

A

Q. この山の名前は、次のうちどれでしょう？  
(ヒントは山の形！テラスから見えるよ)

① かき氷山

②モグラ塚山

③毛無山

④飯盛山

【こたえ】 ④飯盛山 (標高1.643m)

気軽にハイキングができることから、学校の移動教室などでも登られている飯盛山。名前の通り、お茶碗にご飯を盛ったような形が特徴の山です。山頂からの眺めは抜群で、裾野を広げるダイナミックなハケ岳や富士山、南アルプスなどの名峰が見られ、360度のパノラマが楽しめます。大きな自然に包まれた初夏の飯盛山に、おにぎりを持って登りに行ってみませんか

B

Q. 太陽の日差しを受けて、植物は日ごとに成長していきます。  
ここからゴールまでに、あなたが見つけた花やつぼみを描いてみよう！

【こたえ】 あなたの書いた答えが正解！

花は、太陽の光や暖かさを感じながら、花びらを開き、花粉を運んでくれる虫や鳥などの訪れを待っています。花びらの色・形・香りは虫たちを誘うための“看板”のようなもの。この“看板”に誘われた虫たちは、蜜を吸うため花から花へ動き回りながら、花粉を体にくっつけて運ぶことで、子孫作りをいつの間にか手伝っていたのです。虫や鳥のお客様を呼び込む工夫をこらす花は、なかなかの戦略家ですね！  
今日のあなたと花の出会いに拍手♪

C

Q. 清里では、初夏から夏にかけてが、ヤマネの赤ちゃんの産まれる季節です！  
さて、産まれたばかりのヤマネの赤ちゃん1匹の重さは、次のうちどれでしょう？

【こたえ】 ①2g (1円玉2枚分)

ヤマネのお母さんは、1回の出産で、3~5匹の赤ちゃんを産みます。産まれたばかりのヤマネの赤ちゃんの大きさは、人間の小指の先ほどで重さは2gしかありません。(④20gは大人のヤマネの重さ)

しばらくはお母さんからお乳を飲み、3週間前後で乳離れ、その後はお母さんがとってくる昆虫などを食べてすくすく育ちます。生後40日ほどでお母さんと離れて眠るようになり、巣から外の世界へ出ていきます。

# D

Q. 森に耳を傾けて、鳥の鳴き声を聴いてみましょう。  
鳥の鳴き声には、様々なメッセージが込められています。  
メッセージの内容に当てはまらないものを次から選びましょう。

- ① 「結婚しようよ」      ② 「私の縄張りに入らないでよ」  
③ 「一緒に歌おうよ」      ④ 「敵に気を付けよう」

## 【こたえ】 ③ 「一緒に歌おうよ」

鳥にとって、鳴き声はとても大切なコミュニケーション手段です。時と場合によって、同じ鳥でもいろいろな声で鳴くことで、様々なメッセージを相手に伝えます。

- 「さえずり」 春から夏にかけて聞こえる鳴き声  
おもに、オスがメスに求愛する時…(① 「結婚しようよ」)  
縄張りの主張……………(② 「私の縄張りに入らないでよ」)  
● 「地鳴き」 1年中間けてオス・メス共に出すとよばれる鳴き声  
大敵への警戒の台図…(④ 「敵に気を付けよう」)  
色々なコミュニケーションをする時など

鳥の鳴き声が聞こえてきたら、どのようなメッセージが込められているのか想像したり、周りの人と一緒に考えてみるのも面白そうですね。

# E

Q. あなたが清里に来た記念として、  
感じたことや見つけたものを俳句にしてみましょう。

## 【こたえ】 あなたの書いた答えが正解！

標高の高い清里では、桜が咲くのは5月のGW明け頃になります。

その後、アオナシやコナシ(ズミ)の木は白い花を、ツツジは薄紫色や橙色など色とりどりの花を咲かせます。

初夏を表す季語に「夏めく」という言葉があります。

気候が夏らしくなり、風物から夏の気配を感じるようになることをさす言葉ですが、

目に見えるものだけでなく、風の感触や森の匂い、自然の音など、

あなたが見つけた清里の初夏を、ぜひ、友達や家族に伝えてみて下さいね。